

<b>Course number</b>		U-LAS15 20001 LJ58			
<b>Course title (and course title in English)</b>	フィールド地球科学 Field Earth Science		<b>Instructor's name, job title, and department of affiliation</b>	Graduate School of Science Professor,OOKURA TAKAHIRO Graduate School of Human and Environmental Studies Professor,KAMATA HIROKI Graduate School of Science Professor,KAWAKAMI TETSUO Graduate School of Human and Environmental Studies Professor,KOGISO TETSU Graduate School of Science Associate Professor,NARUSE HAJIME Disaster Prevention Research Institute Professor,YOSHIMURA RIYOUKEI	
<b>Group</b>	Natural Sciences		<b>Field(Classification)</b>	Earth Science(Development)	
<b>Language of instruction</b>	Japanese		<b>Old group</b>	Group B	<b>Number of credits</b> 2
<b>Number of weekly time blocks</b>	1	<b>Class style</b>	Lecture (Face-to-face course)		<b>Year/semesters</b> 2024・First semester
<b>Days and periods</b>	Tue.2	<b>Target year</b>	Mainly 2nd year students or above	<b>Eligible students</b>	For science students
<b>[Overview and purpose of the course]</b>					
地球の現在の構造と営み、および誕生から現在までの変動の歴史を明らかにしようとする地球科学では、その情報を得るために野外において調査・観測をし、試料やデータを持ち帰る「フィールドワーク」が重要である。この講義では、フィールドワークの現場の様子（野外状況や調査・観測手法）とそこで得た実際のデータや試料を示しながら、それらから得られた情報が持つ意味を解説し、その解析から示されてきた地球の諸現象の様相について解説する。					
<b>[Course objectives]</b>					
教科書に記載されている地球の諸現象とそのメカニズムが、どのようなフィールドワークと、それにより得られた情報の解析に基づいて解明されてきたのかについて、具体的な理解を深めることができる。					
<b>[Course schedule and contents)]</b>					
様々なテーマ・手段で行われている固体地球科学系のフィールドワークを、現場の状況、調査形態・手法とともに紹介する。そして、それらのフィールドワークから得られた情報や採取試料とその分析データ示し、それらから解き明かされてきた地球の諸現象について解説する。 調査地の状況やフィールドワークの実際の様子は、画像・映像などを通して紹介し、採取した試料や関連試料を実際に見せて触れてもらう。現場・現物をイメージしてもらいながら、それらから得られる情報の意味するところを、分析・解析方法とともに解説する。 講義内容は以下の通り（予定）。フィードバックを含めて全15回分の授業を行う。					
1. ガイダンス＝地球科学における「フィールドワーク」の意義（小木曽） 2. 野外における「時間軸・時代」の認定（小木曽） 3. 身近なフィールド：京都盆地・西南日本（小木曽） 4. プレート運動に伴う諸現象 ・有珠山／三宅島／雲仙普賢岳／箱根山／富士山：活火山の噴火現象と地質フィールドワーク（1回：鎌田） ・阿蘇／桜島／東南アジア：沈み込み帯の火山活動：火山活動を探る地球物理学的アプローチ（1					
Continue to フィールド地球科学(2)					

## フィールド地球科学(2)

回：大倉)

- ・エチオピア：プレート発散境界での地学現象（１回：小木曽）

### 5. 地球深部の現象

- ・チベット／ヒマラヤ／南極：大陸地殻の形成プロセス、地殻内の物質循環（１回：河上）
- ・南太平洋：火山島の溶岩から地球深部を探る（１回：小木曽）
- ・四国-九州地域：四国西部(豊後水道SSE)周辺の比抵抗構造（１回：吉村）

### 6. 堆積物から読み解く地球環境の変動・変遷

- ・東北日本／東南アジア：津波堆積物：堆積物から読み解く地震の記録（１回：成瀬）

### 7. 宇宙というフィールド

- ・隕石／惑星探査：地球外物質の探索（１回：小木曽）

### [Course requirements]

全学共通教育科目「基礎地球科学A・B」または地球科学に関する他の概説的講義を履修済みであることが、講義内容をより良く理解するためには望ましい。講義内で必要な知識については、授業中に適宜補足し、理解を促すための参考書籍・文献等を紹介していく。

### [Evaluation methods and policy]

取り上げた内容の区切りごとにレポートを課す。詳細は第一回目の講義時に説明する。

### [Textbooks]

Not used

### [References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

### [Study outside of class (preparation and review)]

テーマ毎に課すレポートにより、講義内容の復習をすること。  
授業中に示される参考文献の関連部分を読むこと。

### [Other information (office hours, etc.)]

講義時間内に野外に出て、実際に岩石、地層、地形をみる「野外巡検」を企画する予定です。行き先の候補は、京大周辺-吉田山散策、大文字山登山、宝ヶ池公園など。  
野外実習では交通費の負担が生じる場合があります。野外実習を伴うので「学生教育研究災害傷害保険」などの傷害保険に必ず加入してください。